「併合」非難 最多143カ国

国連総会で決議採択
ロシアの孤立 いっそう

【ワシントン＝島田峰隆】国連総会は12日の緊急特別会合で、ロシアがウクライナ東・南部4州で強行した「住民投票」とロシアへの併合について、違法であり無効だとする非難決議を143カ国の圧倒的な賛成多数で採択しました。賛成国数は3月初めの侵略非難決議（賛成141カ国）を上回り、ロシアの孤立の深まりを鮮明に示しました。 ◆関連6・7面

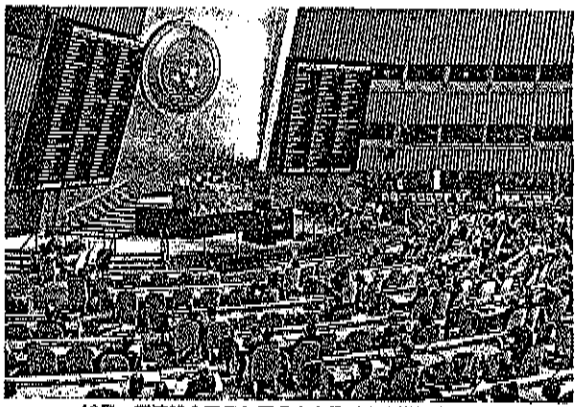
決議に反対したのは、ロシアと、ベラルーシ、北朝鮮、ニカラグア、シリアの5カ国、棄権は中国、インド、キューバなど35カ国でした。今回は過去最多の賛成国数となり、採択時には議場から大きな拍手が湧き起こりました。

「ウクライナの領土保全＝国連憲章の原則の侵害」と題した決議は、欧州連合（EU）が作成を主導しました。

決議は、ロシアがウクライナ4州で行ったいわゆる「住民投票」は違法であり、併合の試みは「国際法上無効だ」と指摘。国連加盟国や国際機関に対してロシアによる4州の地位の変更を認めないよう求めています。

併合の決定は国連憲章の原則と両立しないとして、ロシアに対して決定を即時かつ無条件に撤回するよう要求。ウクライナ領内からの軍撤退も求めています。

決議は、国連事務総長や加盟国、欧州安全保障協力機構（OSCE）などの国際・地域機関に対し、「ウクライナの主権と領土保全、交渉、調停およびその他の平和的手段による平和的解決」を求めました。



12日、国連総会でロシアのウクライナ4州併合に対する非難決議の採決結果を示す議場のモニター＝ニューヨーク（ロイター）

・無条件撤退を求める決議を、加盟国の約4分の3にあたる143カ国の圧倒的な賛成多数で採択した。

賛成した国が141カ国と、今年3月の二つの総会決議を上回り、この問題での過去最高となったこと

・国連憲章と国際法に反するもので無効だと非難し、ロシアによる一連の決定の撤回、ロシア軍の即時・完全撤退を求めるとしたことを歓迎

・ウクライナ情勢に関する国連総会の緊急特別会合は12日、ロシアがウクライナ東・南部4州を一方的・政治的解決に向けた最大限の外交努力を求める」

・併合の決定の即時・無条件の撤回と、ロシア軍のウクライナからの即時・完全・無条件撤退を求めている。

ロシアは撤去な「併合」とともに、「報復」の名のもとに、民間人を対象とした無差別攻撃を含む軍事侵略をエスカレートさせている。核兵器使用の威嚇をたびたびおこなっている。これらは、武力による威嚇と行使を禁止した国連憲章にも、武力による復讐を禁止した国際法の原則にも、民間人を保護する国際人道法にも反するものであり、国連諸機関が警告しているとおり、戦争犯罪を重ねるものである。

ロシアが、総会決議を受け止め、違法な併合を撤回し、即時・完全・無条件にウクライナから撤退することを強く要求する。

一、総会の討論では、各国から紛争がエスカレートしていることへの懸念が表明され、国連憲章の原則に基づいた平和解決に向け、外交交渉を求める声が相次いだ。

これらを受けて決議が、事務総長や加盟国、欧州安全保障協力機構（OSCE）などの国際・地域機関に対して、「ウクライナの主権と領土保全を尊重しつつ、現下の情勢の緊張緩和、政治的対話、交渉、調停およびその他の平和的手段による平和的解決」を求めていることは重要である。

国際社会と歴史に、国際・地域機関が、「ウクライナの主権と領土保全の尊重」を前提としつつ、紛争のエスカレートを抑え、人道危機を打開するために最大限の外交努力を強めることは急務である。

わが党は、国際社会が示した結束を生かし、国連憲章の原則にもとづく平和的・政治的解決に向け、国連が主導して外交努力を強化することを強く求める。

志位委員長が談話
ロシアは無法な侵略と併合をやめ、即時全面撤退を
――平和的・政治的解決に向けた最大限の外交努力を求める

日本共産党の志位和夫委員長は12日の記者会見で、「国連総会決議を受け、ロシアは無法な侵略と併合をやめ、即時全面撤退を」「平和的・政治的解決に向けた最大限の外交努力を求める」との談話を発表しました。

◇

一、ウクライナ情勢に関する国連総会の緊急特別会合は12日、ロシアがウクライナ東・南部4州を一方的に併合するとしたことを国連憲章と国際法に反するもので無効だと非難し、ロシアによる一連の決定の撤回、ロシア軍の即時・完全撤退を求める決議を採択した。

決議は、ロシアがウクライナの領土保全と主権を侵害し、国連憲章の諸原則と照らして「国際法上無効だ」と断じ、ロシアによる4州の「住民投票」の結果の承認、ロシアへの編入の一方的宣言、ロシアとウクライナ間の紛争解決の交渉の放棄、ロシアによる国連事務総長への通告などを撤回するよう求めている。

決議は、ロシアに対し、ウクライナ4州の地位の変更を認めないよう求めるとともに、ウクライナ領内からの軍撤退を求めている。

決議は、ロシアがウクライナ4州で行った「住民投票」は違法であり、併合の試みは「国際法上無効だ」と指摘。国連加盟国や国際機関に対し、ロシアによる